

# 第1章

## 景観の特性と課題



# 第1章 景観の特性と課題

## 1 甲斐市の景観特性

甲斐市の景観特性は、現況調査の結果から「甲斐市らしさを感じさせる景観」と「暮らしの営みが映し出す身近な景観」に分類し、次に示す項目に整理しました。

### ■甲斐市らしさを感じさせる景観

- (1)優れた眺望景観  
富士山や甲府盆地を一望する眺望景観、釜無川周辺からの広々とした眺望景観、ランドマークとなっている北部の山々
- (2)水と暮らしの関わりを伝える歴史文化的な景観  
水との関わりを伝える歴史文化的景観、暮らしとの関わりを伝える歴史文化的景観
- (3)北部地域の地形に沿った農山村景観  
棚田の景観、北部山間地域の農山村集落地の景観
- (4)地域景観を特徴づけている農の景観  
平地部の田園景観、丘陵地や台地の田園景観、新しい農の景観
- (5)四季の移ろいを感じさせる豊かな自然景観  
北部一帯に広がる豊かな森林景観、釜無川などの水辺景観、四季折々の風景
- (6)市の顔となる市街地の景観  
竜王駅周辺のまちなみ景観、地域拠点のまちなみ景観、賑わいある商業地の景観

### ■暮らしの営みが映し出す身近な景観

- (1)住宅地や集落地などのまちなみ景観  
住宅地の景観、集落地の景観、産業集積地の景観
- (2)暮らしを支える施設の景観  
道路の景観、公園緑地の景観、公共公益的な施設の景観、大規模な土木構造物などの景観
- (3)大切にしたい身近な景観  
身近な自然景観、良好な眺望場所、身近な歴史的景観資源
- (4)祭りやイベントなどの賑わい景観  
年間を通して行われている伝統行事やイベント
- (5)市民参加による景観づくり  
農村交流活動、緑化活動、棚田の保全活動、その他の景観形成活動

## (1) 甲斐市らしさを感じさせる景観

### 1) 優れた眺望景観

標高差のある本市では、多彩な眺望景観を身近に楽しむことができ、中でも富士山や甲府盆地を一望するパノラマ景観は本市の代表的な眺望景観となっています。

#### ① 富士山や甲府盆地を一望する眺望景観

本市の赤坂台地や丘陵地などの高台や、茅ヶ岳、曲岳、太刀岡山、羅漢寺山の登山・ハイキングルートなどからは、市街地や甲府盆地とその背景に富士山や御坂山地、南アルプス、ハヶ岳などを望むパノラマ景観を楽しむことができます。また、甲府盆地の美しい夜景も本市の景観の魅力のひとつとなっています。

代表的な眺望場所としては、赤坂台総合公園、敷島総合公園、甲斐敷島梅の里クラインガルテン周辺、サントリー登美の丘ワイナリーなどが挙げられます。



赤坂台総合公園からの眺望

#### ② 釜無川周辺からの広々とした眺望景観

広い河川敷と河川沿いに平地が広がる釜無川周辺は、水辺と一体となった富士山、南アルプス、ハヶ岳などの眺望景観を楽しむことができます。

良好な眺望場所としては、信玄堤、双葉水辺公園、双田橋、開国橋、信玄橋などが挙げられます。

また、日本航空学園周辺や信玄堤西側の広い農地からも、周囲の山並みを一望することができます。

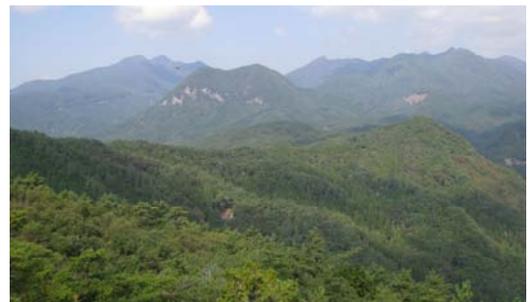


双田橋のたもとからの眺望

#### ③ ランドマークとなっている北部の山々

本市北部に位置する茅ヶ岳、曲岳、太刀岡山、金峰山などの独特な山容は、市街地から視認され、市民が日常的に眺める身近な山並みであり、ランドマークとなっています。

茅ヶ岳、曲岳、太刀岡山、羅漢寺山などからは、富士山、南アルプス、ハヶ岳といった日本を代表する山や山並みの雄大な眺望を楽しむことができます。



羅漢寺山から見た北部の山並みの眺望

## 2) 水と暮らしの関わりを伝える歴史文化的な景観

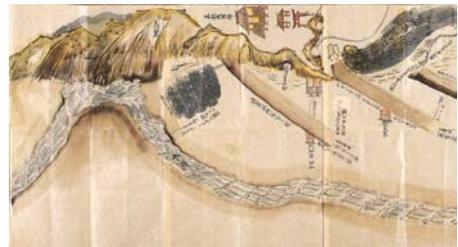
市内には、信玄堤や竜王用水、溜池、堰など、水と暮らしの関わりを伝える歴史文化資源が数多く分布しているほか、遺跡や史跡、社寺、古道や旧街道、歴史的な建造物やまちなみなど、先人たちの暮らしとの関わりを伝える多彩な歴史文化的景観が見られます。

### ①水との関わりを伝える歴史文化的景観

本市は、古来水との関わりが深く、中世の釜無川の治水、江戸時代の新田開発や利水の歴史を伝える遺産が数多く残されており、これらは、本市を代表する歴史文化的な景観資源となっています。

#### ■ 信玄堤の景観

信玄堤は、戦国時代の武将「武田信玄」が、氾濫をくり返す釜無川の水の流れを変えるため、永い歳月を費やして築いたとされる、戦国時代を代表する文化遺産です。付近には樹齢100年を超えるケヤキ林や信玄堤公園があり、釜無川の水辺景観や周囲の山並みを見渡す優れた眺望景観とともに、本市の誇る代表的な景観となっています。



信玄堤古絵図

#### ■ 用水路、堰、溜池などの景観

竜王地区には、江戸時代に用水確保のために掘られた竜王用水が残されているほか、茅ヶ岳南麓にあたる双葉地区や敷島地区の高台には、江戸時代の新田開発の歴史を伝える堰（大空堰、楯無堰など）や溜池などが多く残されています。



楯無堰

こうした堰や溜池ができたことにより、山麓や丘陵地に水田や農地が広がり、今日の農村景観の礎が築かれました。特に、楯無堰は「北巨摩三堰」のひとつに数えられていました。



泉溜池

農と暮らしを永年にわたり支えてきた用水路や溜池の景観は、本市の水との関わりを今日に伝える重要な歴史文化的景観と言えます。

#### ■ 竜王河原宿の面影と伝統行事

竜王河原宿は、信玄堤の日常的な管理補修や水害発生時における堤防の防備、河原の耕地化を図るための労働力を確保するために設置された宿で、竜王地区の三社神社南側の一角に位置し、短冊型地割が往時の面影を残しています。



竜王河原宿のまちなみ

古来から水難場では、堤防の安全を記念する川除祭が行われており、竜王河原宿の三社神社では、今日に至るまで永年にわたって続く伝統的な祭りである「おみゆきさん」が、多くの人々に親しまれています。

## ② 暮らしとの関わりを伝える歴史文化的景観

本市の歴史は、治水・利水に苦勞しながら村づくりをしてきたところに特色があり、そのほかにも先人たちの暮らしの息吹を感じる歴史文化的景観が多く残されており、甲斐市らしさを表象する景観のひとつとなっています。

### ■ 遺跡の景観

市内では、甲斐国の有力豪族の古墳群である赤坂台古墳群（狐塚1・2号墳、西山2号墳、中秣塚古墳、往生塚、双葉1号墳など）をはじめ、弥生時代の大規模な集落跡として知られる金の尾遺跡や平安時代の松ノ尾遺跡など、数多くの遺跡が発掘されています。

このうち、赤坂台古墳群は約30基の古墳が存在していたと言われていたのですが、現在では中秣塚古墳を含め数基が残るのみです。

市内には、このほかにも荒川扇状地や亀沢川上流の山間地周辺に縄文・弥生時代の集落遺跡が数多く分布していますが、景観的には潜在化しているものが多くなっています。



中秣塚古墳

### ■ 史跡の景観

市内には、信玄堤のほか、回看塚、黄梅院跡など、武田氏ゆかりの史跡群、古代甲斐国における仏教文化の浸透を伝える天狗沢瓦窯跡や用水隧道開削碑、山県大弼の墓、野村宗貞の墓、古社水神宮、諏訪大神社境内の登り窯跡などの史跡が分布しています。

こうした史跡の景観は、重層する本市の歴史を今日に映し出すものであり、風景に時間軸という奥行きを与える大切な景観資源でもあります。



山県大弼の墓

### ■ 社寺の景観

市内には、国指定の文化財である光照寺薬師堂をはじめ、県指定文化財の慈照寺法堂および山門、旧金桜神社石鳥居、船形神社の石鳥居、市指定文化財の峰観音堂、松尾神社本殿、三社神社石鳥居、天澤寺山門など、文化財としてその価値が認められている社寺建造物が多く見られます。指定文化財以外にも、天澤寺、常説寺、船形神社、松尾神社、金剛地金山神社、妙善寺、寶珠寺、八幡神社など、地域ごとに数多くの社寺があり、その中には地域住民に親しまれ、地域のシンボルとなっているものも少なくありません。

このような社寺は、境内や建造物だけでなく社寺林や参道などにも特色があるものも多く、それらが一体となって地域景観を特徴づけるひとつの風景を形成しています。



光照寺



慈照寺



天澤寺

## ■ 古道・旧街道の景観

本市の代表的な古道・旧街道としては、古代から近世にかけて山岳信仰の道として多くの参拝者が歩いた「御嶽道」、中世に信濃国を結ぶ軍道としても使われた「穂坂路」、江戸時代の重要な交易路であった「旧信州往還（甲州道中）」が挙げられます。この他にも、徳行（甲府市）から万才・西八幡を経て西郡地域へ至る「戸田街道」、富竹新田経由で三社神社へ至る「御幸道」、中下条から富竹新田・篠原・玉川の諸村を経て市川三郷方面へ向かう「市川道」など、諸筋あったと伝えられています。こうした道筋には、現在でも、往時をしのばせる家並みや歴史文化的な景観資源も多く分布しています。



自然観察路となっている御嶽道外道筋



穂坂道と大塚の家並み



御幸道と富竹新田の家並み

## ■ 旧信州往還（甲州道中）のまちなみ景観（志田・下今井）

双葉地区の下今井・志田は、中世には武田氏が整備した穂坂路の物資集散地として、江戸時代には近郊農村の諸産物を集め、甲府城下へ運ぶ旧信州往還の物資集散地として栄えた歴史があり、街道沿いには古いまちなみが残されています。

どちらも蔵造りの町家が多いのが特徴で、現在も多く見られるなまこ壁の土蔵・古民家のまちなみは、養蚕業が盛んな明治期以降に建てられたものと言われています。現在も、下今井には横町・寺町・仲町・上町という通称地名や三界萬霊塔、二十二夜塔、道祖神なども残っており、志田の網蔵家は旧信州往還の現存する古民家の中では最大規模のなまこ壁の古民家となっています。



下今井のまちなみ



志田のまちなみ

## ■ 歴史的な建造物の景観

社寺などを除く主な歴史的建造物としては、次のものがあり、それぞれ地域景観の中で重要な景観資源となっています。これらは歴史的な価値も高く、景観の観点からも、維持・保存とまちづくりへの活用が望まれます。

### ■ 土木建造物

- ・ 信玄堤（戦国時代を代表する治水土木遺産）
- ・ 竜王用水（江戸時代に用水確保のために掘られたトンネルなどの用水路）
- ・ 堰（江戸時代に新田開発のために茅ヶ岳南麓に整備された大塚堰、楯無堰など）

### ■ 近代土木遺産

- ・ 長潭橋（大正14年、県内最古のコンクリートアーチ橋）
- ・ 信州往還架道橋（明治36年、中央本線が開通した当初のレンガ積みのガード）
- ・ 宇津谷架道橋（明治36年、中央本線が開通した当初のレンガ積みのガード）

### ■ 古民家

- ・ 双葉地区志田の網蔵家  
（旧信州往還の現存する古民家の中では、最大規模のなまこ壁の古民家）
- ・ 竜王地区篠原の三井家住宅（江戸時代の古民家）

### 3) 北部地域の地形に沿った農山村景観

北部地域の入口にあたる谷すじの斜面地に展開する棚田は、本市が誇る文化的景観となっています。また、北部山間地域に点在する農山村集落は、里山と一体となった独特な風情がある集落地景観が見られます。

#### ① 棚田の景観

北部地域への入口にあたる睦沢・吉沢など荒川や亀沢川沿いの谷すじに分布する棚田は、江戸時代初期に開拓されたと言われており、かつては「3町歩800余枚」を超え、その規模と景観の美しさは関東随一と言われ、観光の名所として昇仙峡と併せて広く知られていました。現在も、往時の棚田の形態をはじめ、石積みや水路なども残されており、田植えの季節には、水面上に朝日や夕日が映え、秋には段状の黄金色の豊かな実りが、季節を伝えてくれます。

また、棚田の景観は、本市の風土と人々の永い営みの中で形づくられた「文化的景観」であり、本市が誇る価値の高い景観資源です。

棚田の維持については、所有者や農家だけでなく、NPO法人敷島棚田等農耕文化保存協会により、休耕田化している棚田での農業体験などを通じた棚田の保存とその景観保全の活動が行われています。



棚田の景観



棚田と石垣

#### ② 北部山間地域の農山村集落地の景観

市内北部の山間地域に点在する山村集落地は、地形に沿った小さな集落地と農地が里山に抱かれるように立地し、これらが一体となって趣のある農山村風景が形成されています。

下芦沢・上福沢・下福沢などは、亀沢川沿いの緩傾斜面地に集落や農地が立地していますが、安寺・上菅口・下菅口・漆戸・打返などは、急峻な亀沢川の谷すじを避けた高台の緩傾斜地に立地しており、それぞれの集落が独立した景観領域を形成しています。そのため、独特な風情がある集落地景観が見られます。



上菅口の集落景観



安寺の集落景観

## 4) 地域景観を特徴づけている農の景観

平地部の広がりのある田園景観、丘陵地の地形に沿って展開する水田や樹園地の景観は、地域景観の基調となっています。また、遊休農地を活用した新しい農の景観も見られます。

### ① 平地部の田園景観

釜無川沿いの平地部の中で、竜王地区の西八幡や玉川、双葉地区の宇津谷や大埜などには、まとまった優良農地が広がっており、市街地の家並みや周囲の山並みを背景に、広々とした田園景観が展開されています。

また、郊外部などの住宅地や集落地周辺では住宅地と農地が混在する景観も見られます。



平地部に広がる水田地帯

### ② 丘陵地や台地の田園景観

丘陵地では地形により、比較的緩傾斜地には広く水田地帯が広がり、やや急傾斜地や山麓部には果樹園が展開しています。また、赤坂台地などでは畑地も多く、近年は「赤坂とまと」など製品のブランド化も行われています。

地形に沿ったゆるやかな段状を見せる水田地帯では、平地部の農地景観とは異なり、地形の起伏による立体感を感じさせる農地景観が見られます。

果樹園では、ぶどう・梅・桃・さくらんぼなどの樹園景観が見られ、それぞれ地域景観を特徴づけています。



丘陵地の水田地帯



丘陵地のぶどう畑

### ③ 新しい農の景観

甲斐敷島梅の里クラインガルテンでは、滞在型市民農園の活動が積極的に行われており、眺望に優れた梅の里一帯は、新しい農の景観が作りだされています。

また近年では、遊休農地を活用した花畑づくり(菜の花、ポピー、コスモスなど)、休耕桑園を利用した桑の実摘みなどの取り組みが行われており、農地景観や営農風景にも変化が見られます。



双葉地区のポピー畑

## 5) 四季の移ろいを感じさせる豊かな自然景観

本市の中央部から北部の山岳地域一帯に広がる森林や河川、溜池、水路などの水辺は、豊かな自然を育み、四季の移ろいを感じさせる美しい景観を見せています。

### ① 北部一帯に広がる豊かな森林景観

市域面積の約 44%を占める森林は、市の中央部から北部にかけて広く分布し、クヌギ・コナラなどの二次林とスギ・ヒノキ・カラマツの植林など、多様な林相からなり、昇仙峡付近では、天然林のアカマツ群落など貴重な植生も見られます。こうした森林は、都市景観の背景を成し、新緑や紅葉といった、四季折々の変化に富んだ美しい景観を見せてくれます。

また、北部山岳地帯の稜線部を中心に登山道が設けられているほか、獅子平から下福沢大川林道までは「甲斐市ふる里自然観察路」が整備されており、昇仙峡西側の変化に富んだ森林景観や自然景観そのものを身近に感じることができます。



北部山岳地域の豊かな森林景観



秋の深まりとともに息づく山林の紅葉

### ② 釜無川などの水辺景観

#### ■ 釜無川の水辺景観

山梨県を代表する河川である本市の西縁を流れる釜無川は、戦国時代を代表する治水土木遺産である信玄堤や堤沿いの樹齢 100 年を超えるケヤキ林とともに、特色ある水辺景観を形成しています。広い河川敷が続くことから、堤防上の道路や開国橋・信玄橋・双田橋などの主要な橋からは、富士山・南アルプス・ハケ岳などの眺望やダイナミックに流れる河川景観を楽しむことができます。また、信玄堤・釜無川支流では、市民によるホタルを再生する活動も行われています。

#### ■ その他の水辺景観

県内有数の景勝地となっている昇仙峡を流れる荒川、市街地の水辺となっている貢川などの河川景観、市民の憩いの場となっている矢木羽湖や丘陵地に点在する農業用ため池などの湖沼景観、ホタルが見られる亀沢川や六反川などがあり、それぞれ地域景観を特徴づけています。



釜無川（信玄堤と富士山の眺望）



荒川の水辺と桜橋



矢木羽湖の湖水と水辺

### ③ 四季折々の風景

豊かな自然に囲まれた本市では、四季の移ろいを感じさせる風景が、暮らしに季節感、彩りやうるおいを与えています。

#### ■ 春の風景

残雪を抱いた富士山や南アルプス、新緑のまぶしい周田の山々、桜や梅、菜の花などが一面に咲き誇り、田植えを迎える棚田の風景、ウグイスなどの野鳥のさえずり、おみゆきさんをはじめ各地で行われる春のイベントなど、本市を訪れる多くの観光客とまちの賑わいなどが、春の風景を特徴づけています。



赤坂台総合公園の桜

#### ■ 夏の風景

深緑の山々や里山の緑、緑濃い水田や果樹畑、いたるところに咲き乱れる色とりどりの花々、涼やかな水辺の風景と水辺で遊ぶ子どもたち、市内各所でくり広げられる夏祭りやイベント、多くの人々ににぎわう観光地などが、夏の風景を特徴づけています。



夏の水田の風景

#### ■ 秋の風景

昇仙峡をはじめ、色鮮やかな紅葉で色づく山々や里、山里に広がるコスモス畑、黄金色に実った穂先が風に揺れる水田や稲刈りの風景、秋の夜長に鳴く鈴虫やコオロギの音、ぶどう・柿などの秋の実りと収穫や紅葉狩りで賑わう観光地などが、秋の風景を特徴づけています。



紅葉で色づく秋の信玄堤公園

#### ■ 冬の風景

雪で被われた富士山や南アルプス、ハヶ岳をはじめ、冠雪の輪郭が映える周辺の山々の眺望、冬枯れた里山の風景、結氷した矢木羽湖、降雪時の山里の幻想的な雪景色、稲刈りあとの田圃の風景、竜王駅南北駅前広場のイルミネーションなどが、冬の風景を特徴づけています。



矢木羽湖の雪景色

## 6) 市の顔となる市街地の景観

竜王駅周辺、市役所各庁舎周辺、双葉スマート IC 周辺、店舗立地が進む幹線道路沿道などでは、本市の顔となる市街地景観が形成されています。

### ① 竜王駅周辺のまちなみ景観

竜王駅周辺は、「甲斐市都市計画マスタープラン」において都市拠点として位置づけられ、近年、景観に配慮した施設デザインの駅舎や駅前広場、周辺道路などが整備されました。近接する市役所周辺とともに、本市の中心的な市街地景観を形成しています。

特に、世界的な建築家の安藤忠雄氏の設計監理による洗練されたデザインの駅舎や駅前広場は本市のシンボルとなっており、自由通路は、富士山や周囲の景観を眺望する良好な眺望場所にもなっています。

駅周辺も新しいまちなみが形成されつつあり、本市の玄関口にふさわしい良好なまちなみ景観の形成が望まれています。



竜王駅周辺のまちなみ

### ② 地域拠点のまちなみ景観

市役所周辺、敷島支所・敷島総合文化会館周辺、双葉支所・塩崎駅周辺、双葉スマート IC 周辺は、「甲斐市都市計画マスタープラン」において、地域拠点として位置づけられ、行政・文化施設をはじめ、各種公共施設や店舗・住宅が集積し、地域の生活の中心地として、それぞれ特色あるまちなみ景観を形成しています。



双葉サービスエリア周辺のまちなみ

### ③ 賑わいある商業地の景観

国道 20 号沿いは、沿道型の店舗や業務施設が数多く立地し、典型的なロードサイド型のまちなみ景観を形成しています。

また、アルプス通り、甲府韮崎線、和戸町竜王線沿いにおいても、近年、沿道型の商業施設などの立地が進み、まちなみ景観が変貌しつつあります。

これら幹線道路沿いについては、氾濫する屋外広告物や商業店舗の適切な誘導などにより、質の高い賑わい景観と良好なまちなみ景観の形成が望まれています。



国道 20 号沿道のまちなみ

## (2) 暮らしの営みが映し出す身近な景観

### 1) 住宅地や集落地などのまちなみ景観

市内の住宅地や集落地では、地域の特性や暮らしぶりを反映した個性あるまちなみ景観が形成されています。

#### ① 住宅地の景観

南部の平地部では、広く住宅市街地が形成されており、道が狭く密集したまちなみ景観が多く見られ、郊外部では、農地と住宅地がモザイク状に混在しているところもあり、本市の郊外地域景観の特色のひとつとなっています。この他、丘陵地などにおいても農地の中に宅地化が進み、まちなみ景観への影響が懸念されているところも見られます。

一方、赤坂台地周辺では新興住宅地が形成されており、計画的に整備された響が丘周辺などでは統一感のあるまちなみ、道路に面した開放的な庭、沿道緑化など、景観に配慮した良好な住宅地景観も見られます。



市街地のまちなみ



農地と混在する住宅地



整備された住宅地のまちなみ

#### ② 集落地の景観

市内には、古代・中世から続く古い集落地も多く、釜無川周辺や丘陵地、北部の山間地域には大小様々な集落地が分布しており、地域ごとに特色ある集落景観を形成しています。

特徴的な集落地としては、歴史的なまちなみを残す集落地（志田・下今井・竜王河原宿など）、山麓の農山村集落地（菅蒲沢・大久保・天狗沢・牛匂・亀沢・吉沢など）、谷合いの山村集落地（下芦沢・神戸・上福沢・下福沢など）、山間に点在する山村集落（上芦沢・安寺・上菅口・下菅口・漆戸・打返など）などが挙げられます。



菅蒲沢の集落景観



吉沢の集落景観



上菅口の集落景観

#### ③ 産業集積地の景観

市内の産業集積地としては、計画的に整備された下今井農工団地や竜王赤坂ソフトパークなどがあり、こうしたまちなみは、本市の産業景観のひとつとなっています。

また、赤坂ソフトパークの桜並木は、本市の桜の名所のひとつとなっています。



赤坂ソフトパークの桜並木

## 2) 暮らしを支える施設の景観

道路や公園緑地、公共公益的な施設、大きな土木構造物などは、地域景観を印象づけ、あるいは大きな影響を与えるものです。

### ① 道路の景観

道路は、多くの方が風景を眺める視点場でもあり、沿道に形成されるまちなみ景観は、地域のイメージを印象づけるものです。

市内には、沿道型商業地の賑わい景観を形成している国道20号、眺望の優れた下今井駒沢線、観光ルートとなっている昇仙峡ライン、旧信州往還などの古道・旧街道、桜並木や街路樹の美しい道路など、路線や地域ごとに特色ある道路景観が見られます。



国道20号の景観



下今井駒沢線の景観

### ② 公園緑地の景観

公園や緑地は、市民の身近な憩いの場、自然とのふれあい、スポーツやレクリエーションの場として多くの人に利用されているだけでなく、まちにうるおいや賑わいを与え、良好な眺望場所、まちの目印としても景観上重要な役割を果たしています。

市内には、赤坂台総合公園、敷島総合公園、玉幡公園、釜無川スポーツ公園、信玄堤公園、島上条公園、双葉水辺公園など、景観的に特色ある公園が数多くあります。



玉幡公園

### ③ 公共公益的な施設の景観

市内には、竜王駅をはじめ、市役所などの行政施設、文化交流施設、小・中学校などの教育施設、公民館などのコミュニティ施設、病院、福祉施設、温泉入浴施設、農産物直売所、市民農園など、景観的に特徴のある公共公益的な施設が多く見られます。

こうした公共公益的な施設は、多くの市民や観光客などに利用され、交流や賑わいの場となっているほか、それぞれに個性のある施設デザインは、まちや地域のシンボル・目印として、地域景観を特徴づけています。



双葉ふれあい文化館



敷島総合文化会館

#### ④ 大規模な土木構造物などの景観

##### ■ 土木構造物の景観

市内の主な土木構造物としては、中央自動車道や中部横断自動車道の高架構造物をはじめ、双田橋、信玄橋、開国橋などの橋梁、国道20号の立体交差（竜王立体）、釜無川などの河川構造物（護岸構造物、水制構造物など）、山間地域などにおける道路や敷地整備に伴う擁壁や法面などの構造物、治山のための構造物（えん堤、流路施設など）が挙げられます。



双田橋



釜無川の石張り護岸



中部横断自動車道の高架橋



千田のえん堤

##### ■ 鉄塔などの景観

市内には、建築物や土木構造物以外にも、電気を供給するための鉄塔や送電線、電柱などの電力供給施設、上水を供給するための貯水タンク、産業廃棄物中間処理施設など、様々な施設が存在しています。

これらの施設は、私たちの暮らしや業務・活動を支える大切なライフラインであり、必要不可欠なものです。景観の中ではかなり目立つものです。



電波塔



送電線と鉄塔



携帯アンテナ塔



貯水タンク

### 3) 大切にしたい身近な景観

暮らしの中に溶け込んでいる花の名所、公園緑地、社寺林や屋敷林などの身近な自然景観、日常の中で目にする眺望景観、古民家や道祖神などの身近な歴史的景観などが暮らしにうるおいや彩りを与えています。

#### ① 身近な自然景観

北部の山岳地域のような骨格的な自然景観以外にも、日常の暮らしの中で身近にふれあうことのできる良好な自然景観が多く見られます。これらは、暮らしにうるおいや彩りを与え、来訪者には、おもてなしの心を伝える大切な景観資源です。

##### ■ 花の名所

市内には、多くの花の名所があり、それぞれに花の時期には多くの人の心を癒し、楽しませてくれています。また、花にまつわるイベントも開催されるなど、本市の風物詩として地域景観のひとつとなっています。



敷島総合公園の梅園

##### ■ 花の名所(例示)

- 桜の名所（信玄堤、慈照寺、矢木羽湖、光照寺、貢川・荒川土手、竜王赤坂ソフトパーク、赤坂台総合公園、中下条公園、双葉スポーツ公園、竜王南部公園、カルチャーパークなど）
- 梅園（敷島梅の里、敷島総合公園周辺など）
- その他（赤坂台総合公園の芝桜、中央自動車道双葉SAのラベンダー、岩森のポピー畑とコスモス畑など）

##### ■ 公園緑地などの自然景観

市街地を中心に数多くの公園緑地が整備されており、身近な自然とのふれあいの場として親しまれています。

中でも、桜や花の名所となっている赤坂台総合公園、敷島梅の里、豊かな自然に囲まれた敷島総合公園、洗練されたデザインの玉幡公園、釜無川の水辺景観とケヤキの巨木群のある信玄堤周辺などは、いずれも眺望景観に優れ、本市のシンボリックな公園となっています。



信玄堤公園

##### ■ 暮らしの中の身近な自然景観

住宅地や集落地の周りには、ホタルの生息地、社寺林、天然記念物となっている樹木、地域のシンボルとなっている古木・大木をはじめ、雑木林、屋敷林、学校林、農地や小川など、身近な自然景観が多く残されており、地域景観にうるおいを与えています。



社寺林（諏訪神社）



法久寺のカシワ



信玄堤のケヤキの巨木群

■身近な自然景観資源(例示)

- ホタルの生息地（亀沢川、六反川、信玄堤・釜無川支流など）
- 社寺林（各地域にある諏訪神社、金山神社、八幡神社など）
- 天然記念物となっている樹木（上菅口のネズ、竜地の楊子梅、法久寺のコツブガヤ、西八幡のカキ、寺平のオニグルミ、上八幡のヒイラギ、法久寺のカシワ、如意寺のナシ、妙善寺のカヤ、竜蔵院のムクロジ、普禅院のカヤ、羅漢寺跡のカキ、寶珠寺のヒイラギ、西八幡のカエデなど）
- 地域のシンボルとなっている古木・大木（信玄堤のケヤキの巨木群、大下条中心地のケヤキ、慈照寺のケヤキ、万才諏訪神社のケヤキ、玉幡公園のケヤキ、竜王南小学校の緑地と学校周辺のカシノキ、県立農林高校の樹林など）

② 良好な眺望場所

竜王駅の駅舎、河川沿いや橋、公園や広場、道路、観光レクリエーション施設や公共施設のほか、集落地や住宅地といった身近な富士山を望む場所など、良好な眺望場所が多く存在しています。

こうした良好な眺望場所を発掘し、その確保と充実を図り、市民や観光客などに周知していくことが望まれています。



天狗沢からの眺望



住宅市街地からみた富士山

③ 身近な歴史的景観資源

市内には、小さな社寺、古民家、蔵、土塀などの建造物、祠、道祖神、地藏、石仏などの小さな史跡、農業用水路や堰など、地域の歴史を伝える身近な歴史的景観資源が数多く分布しています。

特に、道祖神は、双葉地区の下今井や龍地、竜王地区の西八幡、敷島地区の上福沢や下福沢などの古くから形成された集落地や古道周辺に多く分布しており、道祖神祭りとともに、当時の村人たちの信仰の歴史を伝える本市の歴史的景観のひとつとなっています。

これらの一つひとはあまり知られていませんが、それぞれが地域の成り立ちや歴史を表わす身近な景観資源であり、こうした資源を大切に守っている地域景観からは、地域を愛おしむ暮らしづくりが伝わってきます。



上福沢の道祖神



龍地の道祖神



神戸の六角地藏

## 4) 祭りやイベントなどの賑わい景観

年間を通して行われている様々な伝統的行事やイベントは、まちの賑わい景観を創出するとともに、地域の歴史文化や暮らしぶりを伝える風物詩となっています。

市内では、年間を通じて祭りや伝統行事、イベントが数多く行われています。

こうした伝統行事やイベントは、多くの市民や観光客が訪れる本市の風物詩となっており、行事やイベントの賑わい景観が活気をもたらすとともに、本市のイメージを発信する重要な機会や場にもなっています。



おみゆきさん



下福沢の道祖神祭り



甲斐市わくわくフェスタ



甲斐梅の里クロスカントリー大会

### ■市内の主な伝統行事・イベント

#### ●祭り・伝統行事

下福沢の道祖神祭り／おみゆきさん／金剛地金山神社の祭り／大久保の太々神楽／田中の八幡神社の夏祭り／米笠のホタルまつり／赤坂稲荷神社初午祭り／光照寺薬師堂祭典／寺平の獅子舞／峰観音堂の初午まつり／竜王新町諏訪神社の御柱祭り など

#### ●イベント

大弐学問祭／甲斐梅の里クロスカントリー大会／甲斐市わくわくフェスタ／さくらんぼ狩り／桑の実摘み／小梅もぎ取り体験 など

## 5) 市民参加による景観づくり

市内では、ボランティアや地域住民による棚田の保全、清掃活動、花植えや水やりなど、様々な景観形成活動が行われており、本市の景観形成に貢献しています。

### ① 農村交流活動

甲斐敷島梅の里クラインガルテンは、地元の遊休農地を活用し農村エリアを活性化することを目的に、地元農家、住民、行政が一体となった活動を進めています。

このクラインガルテンでは、体験学習や相談・農作業のアドバイス、地域散策やハイキング、収穫祭の開催など、地元農家と都市住民との交流を推進する多彩なイベントを実施しています。



甲斐敷島梅の里クラインガルテン

### ② 緑化活動

花と緑あふれるまちづくり「ガーデンシティ・甲斐」の実現をめざし、甲斐市花と緑のまちづくり推進協議会による緑化活動が行われています。

協議会は市内の各種団体で構成され、市内の公共施設や道路沿い、広場などを利用した花壇づくりやプランターの設置、花苗の植え替えや草取り、水やりなどの維持管理活動や多様な緑化活動を進めています。



花と緑のまちづくり推進協議会による花壇

### ③ 棚田の保全活動

敷島地区の睦沢から吉沢一帯の棚田は、通称「御領千枚田（ごりょうせんまいだ）」と呼ばれ、大小様々な形の水田が傾斜地に階段状につくられ、四季折々の美しい風景を見せています。この棚田の素晴らしさを市民や来訪者など多くの人に知ってもらい、本市の農耕文化を伝える貴重な文化遺産として保存することを目的として、平成15年に「NPO法人 敷島棚田等農耕文化保存協会」が設立され、棚田の保全活動を行っています。



千枚田の解説板

### ④ その他の景観形成活動

その他の市民参加による景観形成活動としては、信玄堤の清掃活動、ホタルの保護・育成（六反川、信玄堤・釜無川支流など）、甲斐市ちいさな旅／まち歩きツアー、「ふるさと再発見」をテーマとした甲斐市市民ウォーク、甲斐市文化財めぐりのイベント開催、小学校における農業体験活動、「緑の少年少女隊」の活動などが行われ、景観形成の一翼を担っています。



ホタルの保護・育成が行われている六反川

## 2 景観まちづくりに向けた課題

甲斐市の景観の特性や多様な市民意見を踏まえ、今後の景観まちづくりに向けた課題を次のように整理します。

### ① 甲斐市の風土を慈しみ、尊ぶこと

本市の地形は、人類の歴史をはるかに超えた年月の中で形づくられてきたものであり、本市の景観の土台を成す重要なものであるため、景観まちづくりにおいては、この地形構造の持ち味を損ねることのないよう、配慮することが必要です。

一方、高台からの眺望景観、北部山岳地帯を中心とする森林景観、河川景観などは、本市の豊かな自然を表す代表的な景観であり、市のイメージを発信するシンボル景観ともなっています。

こうした本市の風土を表象する優れた景観を、人為を越えた普遍的なものとして慈しみ、尊び、その上で、単に保全にとどまらず、積極的に景観まちづくりや地域振興に活用していくことが必要です。

### ② 歴史文化を大切にし、景観まちづくりに生かすこと

本市には、水との関わりを伝える歴史文化的景観が数多く見られるほか、地域のルーツや個性を表象する景観資源も市内各地に見られます。また、棚田の景観は、本市を代表する文化的景観であると言えます。

このような歴史文化的景観は、風景に時間軸という奥行きを与え、地域景観に意味や物語性を付与し、景観の価値を高めるものです。しかし、歴史文化的資源は、時の経過とともに景観的には潜在化してしまうものが増えてきています。

そのため、歴史文化的景観の価値を再認識するとともに資源の掘り起こしと周知に努め、景観まちづくりに活用していくことが必要です。

### ③ 暮らしぶりを伝える甲斐市らしい「おもてなし」の景観をつくること

本市の平地から丘陵地にかけては、甲府の近郊都市として発展してきましたが、必ずしも計画的に都市が形成されてきたとは言えません。

そのため、明確な中心市街地や核となる中心商店街などがなく、古くからの集落地と新興住宅地と農地が混在する景観など、景観的な不調和も見られます。

こうした中、近年においては竜王駅、アルプス通り、市役所各庁舎周辺などで、景観に配慮された施設デザインの公共公益施設の整備や、賑わいをもたらす商業施設の立地などにより、本市の顔となる拠点景観やまちなみ景観が形成されつつあります。また、地域ごとに特徴を生かした観光交流や祭り、イベントなども活発に行われ、多くの来訪者を集めています。

市民および来訪者にとって、魅力的な景観まちづくりを推進していくためには、市の顔となるまちなみ景観の向上を図るとともに、市民の暮らしそのものが、来訪者にも心地よさを提供するような、甲斐市らしい「おもてなし」の景観をつくっていくことが必要です。

#### ④ 地域特性が表情として現れる身近な景観を育んでいくこと

市内には、幹線道路沿道の商業地、古くからの住宅市街地、郊外の新興住宅地、農業集落地や山村集落地など、地域ごとに特色ある景観が形成されており、地域の特色や暮らしびりを伝える魅力的な景観が、身近なところにあることがわかります。

こうした身近な景観も、人々の暮らしの営みと様々な工夫の中で少しずつ育まれてきたもので、地域景観を特徴づけている重要な要素であり、地域の景観資源として大切に守り、育んでいくことが必要です。

#### ⑤ 景観まちづくりの作法として、景観のルールづくりを進めること

本市は、豊かな自然景観と美しい田園景観に恵まれた都市ですが、都市化が進展する過程において、まちなみの統一感やバランス、落ち着いた雰囲気、うるおいや安らぎといった景観づくりのルールが失われつつあります。

景観市民アンケート調査や景観まちづくり市民懇談会からは、景観の阻害要因として、マナーの低下、里山や棚田の荒廃、農地の減少と遊休農地の増加、山村集落地の過疎化、農地や森林の無秩序な開発、伝統的な集落地と新興住宅地の景観的不調和、携帯アンテナの設置、乱立する広告看板類、景観への配慮を欠いた建築物の色彩や形態、空き家や空き店舗、ごみ・廃棄物の不法投棄などが指摘されています。

こうした景観を阻害している要因を、少しずつ除去または改善し、良好な景観の維持、向上を図るためには、景観まちづくりの作法として、景観に関する一定のルールづくりが必要です。

#### ⑥ 景観への関心を高め、協働による景観づくりの仕組みをつくること

美しい景観に恵まれた本市においては、それを当たり前のこととして享受してきました。しかし、今日では放置しておくとしわれゆく景観も少なくありません。そして、一度失った景観を取り戻すことは、容易なことではないため、ふるさとの景観の価値をもう一度見つめ直し、景観に対する市民、事業者、来訪者、そして行政それぞれの意識を高めていく必要があります。

景観市民アンケート調査では、市民の景観に対する関心や景観づくりへの参加意向も高くなっています。また、市内では、地域住民、ボランティア、各種団体などにより、様々な景観形成活動が行われています。

こうした市民活動の小さな芽を育て、市民が主体となった景観形成活動へと一層発展させていくため、景観計画や景観条例に基づき、行政の推進体制の強化を図るとともに、市民の自発的な景観形成活動を支援する仕組みを整えていくことが必要です。